



地域密着営業の強みを

4月に東京多摩地区の6拠点が東京支店へ移管され、神奈川県全域と山梨県の一部を管轄する西関東支店のかじ取りを任せられた。支店長の経験は初めて。「とにかく役職員全員にやりがいを感じてもらえる職場づくりに率先して

取り組む」と抱負を語る。入社して約34年、製品部門を中心に歩んできた。原油価格の高騰で苦境に立たされている製品事業を立て直すため、「原価に見合った価格を嫁とともに、代替エネルギーの転換や低炭素素材の販売拡大にも注力していく」考えた。

トした事業は東京支店に移管されたが「蓄積したノウハウを生かし、新たな収益の柱として他の自治体でも優位性を発揮したい」と意気込む。

残業時間上限規制の適用を2年後に控え、働き方改革を一層加速していく。「役職員の意識改革で長時間労働は確実に減ってきたが、限界があるのも事実。より付加価値が高く業務が効率化できるITツールなどを積極的に導入していきたい」。

大にも注力していく」考えた。工事部門では「地域密着の民間営業と官庁工事の受注拡大に努め、現場には若手職員を積極的に登用する」方針で、人材育成も強化する。

趣味は野球観戦で大のカープファン。「和をもって貴しとなす」がモットー。

維持管理市場の拡大に伴い道路等包括管理事業を注力分野に挙げる。府中市でスター

（4月1日就任。立教大学経済学部卒。東京都出身、57歳）

